

緑の担い手

林業という仕事

株式会社ヨシナリ林業

齋藤真輝

私は、再就職で林業という職に就くことになりました。前職は、林業とは全く関係のない職種でしたが、体を動かすことが好きで、高校時代に林業高校に通っていたこともあり、迷いなく現在の会社に入社することができました。

私は、入社初日から現場に入りましたが、そこでの作業を見て、大変驚きました。

林業の仕事全般は、人力で行われるものだと思いますが、チェーンソーによる伐倒作業以外は、ほとんどが機械作業で行われており、私のイメージとは全く違っていただけです。

高性能林業機械を使って作業する現場は、大変迫力があり、特に、この時初めて見たハーベスタによる造材作業には、圧倒されたのを今でも覚えています。

入社して3年が経ちました。現在は、チェーンソーによる伐倒作業と、

造材された材をフォワーダで運搬する作業を主に行っています。

日々、先輩方からの指導やアドバイスをいただきながら、現場での作業に励んでいます。

また、「緑の雇用」研修に参加して、伐倒作業以外の地拵えや苗木の植え付け、下刈りなど、普段余り行わない作業や、林業で必要な資格取得、林業機械のメンテナンス方法を学ぶことができ、とてもためになりました。他社の人たちと情報交換し、交流することができ、大変有意義な機会を得ることができました。この研修も、残すところあと1年となりましたが、研修で学んだことや、先輩方の指導、アドバイスをもとに、これから林業人生を楽しく過ごしていきたいと思います。

